

健康福祉審議会	2022/5/30	資料3-2
第10回 健康・介護・高齢者部会		

■ 「中野区スポーツ・健康づくり推進計画」
進捗状況（令和4年3月）

■目次

施策	主な取組	ページ
1 誰でもスポーツ・健康づくり活動に取り組める環境の整備	魅力あるスポーツ・健康づくり事業の提供	3
	障害者スポーツの推進	3
	オリンピック・パラリンピックレガシーを活用したスポーツ気運の醸成	4
	安全・安心にスポーツに取り組める環境の整備	4
2 スポーツ・健康づくり活動を通じたコミュニティの形成	会員により自主的、自立的に運営される地域スポーツクラブの育成	5
	地域スポーツクラブを中心としたコミュニティ形成の推進	5
	多世代、多種目、多志向に対応したスポーツ・健康づくり活動の機会の提供	5
3 子どもの運動習慣の定着・体力向上に向けた取組の推進	遊びを中心とした身体活動による運動習慣の定着	6
	子どもの体力を向上させる取組の推進	6
	学校運動部活動の活性化	7
4 区内スポーツ団体等との連携、支援	一般社団法人中野区体育協会との連携、支援	8
	中野区スポーツ推進委員との連携、支援	8
	地域スポーツクラブとの連携、支援	8
	区内大学等との連携	9
	スポーツを核とした関係者や団体間の連携	9
	スポーツを支える人材の育成	9
5 健康的な生活習慣の定着支援	精神保健相談	10
	地域健康活動支援	10
	健康づくり支援	10
	熱中症対策の普及啓発	10
6 データ分析や健診等による健康づくりの支援	生活習慣病予防対策事業	11
	受動喫煙防止対策事業・禁煙外来治療費助成事業	11
	データヘルス事業	11
	がん等検診の実施及び受診勧奨事業の実施	12
	客観的データに基づく運動機能向上の推進	12
7 食育の推進	各ライフステージに合わせた食育の推進と食生活支援	13~14
	健康づくり事業等における食育の普及啓発	14
	食育推進団体や区内栄養士等との連携と人材育成	14
	食品関連事業者における食育の推進	15
	環境を意識した食育の推進	15
	食の安全性の確保	15
	なかの里・まち連携による農業体験等の実施	16
	歯と口腔の健康事業	16

計画進捗管理シート

計画名称	スポーツ・健康づくり推進計画
施策	1 誰でもスポーツ・健康づくり活動に取り組める環境の整備
目指すべき状態	区内各所でライフスタイルや目的に応じた様々なスポーツや健康づくりの機会が提供され、区民が日常的に、それぞれの関心や適性に応じた活動に取り組んでいます。
施策の方向性	・年齢や性別、障害の有無等にかかわらず、誰もが安全に、安心してスポーツ・健康づくり活動に取り組める機会や環境を整えます。 ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーとして、障害者スポーツやユニバーサルスポーツを推進し、スポーツを通じ、お互いの個性が尊重される社会の実現を目指します。

主な取組			
■魅力あるスポーツ・健康づくり事業の提供（計画冊子ページ:P70）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
すべての区民が生涯にわたって運動・スポーツを無理なく楽しく続けられるよう、年代、健康状態、ライフスタイルなどに応じた様々な運動機会を提供します。	スポーツ振興課	自己評価：○ 総合体育館、運動施設、スポーツ・コミュニティプラザにおいて、多世代のニーズに即した教室や講座事業を幅広く実施した。	教室や講座事業の内容を充実させるとともに、対象とする区民のライフスタイルに合わせ、実施する時間帯や場所などを工夫し、参加しやすい環境を整えていく。
トップアスリート等との連携や文化活動等と組み合わせた参加の機会を提供により、運動・スポーツ無関心層へアプローチします。	スポーツ振興課	自己評価：○ 区内のスポーツ施設において、スポーツウエルネス吹矢やダンスのプログラム、音楽を取り入れた障害者向け事業などを実施した。	社会の動向や区民のニーズを的確にとらえ、新たなプログラムを創造し、幅広い区民の関心を高めていく必要がある。
運動・スポーツ習慣の確立のために、自宅でできるトレーニングや、身近な地域でのウォーキング等、日常的に手軽に取り組めるメニューを提供していきます。	スポーツ振興課	自己評価：○ 平和の森公園でのウォーキングやヨガ事業を実施したほか、スポーツ施設ホームページにより、運動不足解消のための動画配信を行った。	「新しい生活様式」に合わせて、日常的に取り組めるスポーツの紹介や機会の提供に取り組んでいく必要がある。
■障害者スポーツの推進（計画冊子ページ:P70）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
より多くの人々に障害者スポーツを知ってもらうよう、普及啓発に取り組むとともに、障害者が安全・安心にスポーツに参加できる環境を整備していきます。	スポーツ振興課 障害福祉課	自己評価：○ 中野区スポーツ推進委員が「障がい者スポーツ指導員」の資格を取得する際の支援など、ソフト面での環境整備に取り組んだ。	障害者の意見や視点を取り入れながら、ハード面でのスポーツ施設や設備を改善していくとともに、指導者の育成などにも取り組んでいく必要がある。
年齢や性別、障害の有無等にかかわらず取り組むことができるユニバーサルスポーツを推進し、スポーツを通じ、お互いの個性が尊重される社会の実現を目指します。	スポーツ振興課 障害福祉課	自己評価：○ ポッチャやSTT(サウンドテーブルテニス)の体験会等を通して、幅広い区民が楽しめるスポーツの普及啓発に努めた。	体験会等を通じた交流により、競技者や指導者を増やし、日常的にユニバーサルスポーツに取り組む区民を増やしていく必要がある。

■オリンピック・パラリンピックレガシーを活用したスポーツ気運の醸成（計画冊子ページ:P70）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催により高まった区民のスポーツに対する興味や関心を低下させないよう、区立総合体育館が公式練習会場となる卓球や、認知度が高まったパラリンピック種目を活用したスポーツ事業を、大会レガシーとして展開していきます。	スポーツ振興課	自己評価：○ 東京2020大会開催後、オリンピック・パラリンピック推進事業として「ONE NAKANO Para Sports Fes」を実施し、車いすバスケ、ゴールボール、5人制サッカー等の観戦や体験の機会を提供した。	中野区にとって、東京2020大会のレガシーとなる卓球や障害者スポーツを継続的に普及啓発することで、スポーツに対する区民の興味や関心を定着させる必要がある。
■安全・安心にスポーツに取り組める環境の整備（計画冊子ページ:P70）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
スポーツ事業の運営において、事故や怪我のリスクの軽減や予防、熱中症や感染症の対策に取り組むとともに、区内スポーツ団体や区民との情報共有、正確な知識の普及啓発等に取り組めます。	スポーツ振興課	自己評価：○ 地域スポーツクラブの事業として、現役の指導者や将来の指導者を対象として、新型コロナウイルス感染症の影響下におけるトレーニング理論等を学ぶ養成講座を実施した。	指導者だけでなく、スポーツを行う区民や団体に対して有益な情報を届けられるような機会の創出や、伝え方の工夫が必要である。

計画進捗管理シート

計画名称	スポーツ・健康づくり推進計画
施策	2 スポーツ・健康づくり活動を通じたコミュニティの形成
目指すべき状態	区民が主体的に地域スポーツクラブの運営や事業の企画に参加することで、スポーツ・健康づくり活動を通じた地域交流が活性化し、新たなコミュニティが形成されています。
施策の方向性	スポーツ・健康づくり活動を通じた区民同士の交流や地域コミュニティの形成を進めます。

主な取組			
■会員により自主的、自立的に運営される地域スポーツクラブの育成（計画冊子ページ:P71）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
会員が中心となって主体的に運営される総合型地域スポーツクラブを目指し、人材の育成や活動場所の確保、クラブの支援に取り組み、クラブのマネジメント機能を高めていきます。	スポーツ振興課	自己評価：○ 中野区における総合型地域スポーツクラブのこれまでの経緯や取組を検証し、今後のあり方についての検討を行った。	クラブ運営の知識やノウハウ等を提供することにより、新たな総合型地域スポーツクラブを担う団体を育成していく必要がある。
■地域スポーツクラブを中心としたコミュニティ形成の推進（計画冊子ページ:P71）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
地域スポーツクラブが、多様な特色や魅力を持ち、幅広い事業を展開できるよう支援を行います。クラブ運営や事業の企画等を通じ、地域交流を活性化させ、新たなコミュニティが形成されることを目指します。	スポーツ振興課	自己評価：○ 地域スポーツクラブの活動拠点であるスポーツ・コミュニティプラザ周辺の清掃活動として、クリーン・ウォークを企画し、多くの地域住民の参加を得た。	地域の意見を事業展開に活かし、区民の自主的な活動が促進されるよう、継続的な支援を行っていく。
■多世代、多種目、多志向に対応したスポーツ・健康づくり活動の機会の提供（計画冊子ページ:P71）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
子どもから高齢者まで幅広い世代が、それぞれの志向やレベルに合わせて、様々なスポーツや健康づくりに参加できる機会を提供します。また、新たな交流をきっかけとして、お互いを認め合う多様性への理解を深めていきます。	スポーツ振興課	自己評価：○ より多くの区民が参加できるよう、親子で参加できる体操や水泳教室、高齢者向けの転倒予防体操などについて、レベルや目標を細かく設定した。	教室に参加する区民相互の交流を促すための工夫が必要である。

計画進捗管理シート

計画名称	スポーツ・健康づくり推進計画
施策	3 子どもの運動習慣の定着・体力向上に向けた取組の推進
目指すべき状態	子どもの頃から運動やスポーツに親しむことで、運動習慣や基礎的な体力が身についています。
施策の方向性	子どもたちの運動習慣の定着や体力向上、意欲の向上に取り組めます。

主な取組			
■遊びを中心とした身体活動による運動習慣の定着（計画冊子ページ:P73）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
区立スポーツ施設の空き時間に、一般開放を実施し、子どもが遊べる環境づくりに取り組んでいます。	スポーツ振興課	自己評価：○ 団体利用が少ない時間帯を活用し、哲学堂、上高田の野球場や中部スポーツ・コミュニティプラザの屋外運動広場を、子どもとその同伴者に無料開放した。	引き続き、施設の利用状況を正確に把握し、利用頻度の傾向を分析することで、空き時間を子どもの遊び場として有効活用していく。
保育施設や幼稚園等において、中野区の子どもの実態調査に基づき独自に策定した「中野区運動遊びプログラム」等の取組を進め、発達に応じた運動を取り入れることで、身体を動かすことが好きな乳幼児を育みます。	指導室	自己評価：○ 合同研究運動遊び部会を年間5回開催。様々な教育・保育施設の参加者は、「中野区運動遊びプログラム」等を基にした根拠のある研究を深め、自園の保育に活かすとともに、研究資料は全園に供覧された。	様々な教育・保育施設で育まれた、身体を動かすことが好きな乳幼児が、小学校へと入学してからも、身体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動が好きな子どもに育っていくために、どのような取組ができるか、引き続き検討していく。
■子どもの体力を向上させる取組の推進（計画冊子ページ:P73）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
区内小・中学校において、体力向上プログラムに基づく指導の充実を図り、運動能力の到達目標(中野スタンダード)の達成を目指します。	指導室	自己評価：○ 令和2(2020)年度と比べ、小学校6年生が達成した項目数は、9から11に増加し、中学校3年生は変わらなかった。前年度の体力テストの結果を基に目標を決めるなど、各校は児童・生徒に課題意識を持たせ取り組むことができた。 【達成状況】 ・小学校6年生 11/16 ・中学校3年生 13/18	・体力テストの分析から、「新しい日常」における体力向上の取組の重要性をあらためて見直し、一人ひとりの児童・生徒の課題に合った指導を行えるようにする。 ・1日の運動・スポーツ実施時間など、生活習慣の変化と体力との関係性について注視していく必要がある。
小学校の体育の授業において、保健体育科教員を志望する学生に補助員として参加してもらうなど、運動を身近なものとする取組を進めます。	指導室	自己評価：× 新型コロナウイルス感染症の影響により、学生を補助員として参加させることができなかった。	新型コロナウイルス感染症の影響下においても、学生が関わることのできる方法を検討していく。
運動が苦手な子どもでも進んで参加できるよう、特定の種目に限定せず、児童・生徒の興味や関心に応じて柔軟に活動できる取組や部活動等を充実していきます。	指導室	自己評価：○ 部活動の実施時間は減少しているが、主に体育の授業を通して、児童・生徒が運動に興味・関心を持てるよう工夫している。ダンス動画をGoogle Classroomにアップロードするなど、一人1台端末を活用した日常的な運動の取組も見られた。	児童・生徒にとって体育の授業は、運動への意欲・関心を高める絶好の機会となる。令和4(2022)年度は、体育専科教員など、体育の授業を行う教員を対象とした「スキルアップ研修(体育)」を新たに実施し、授業における課題解決の方法や言葉掛けの工夫などの専門性を向上させ、授業改善を図っていく。

■学校運動部活動の活性化（計画冊子ページ:P73）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の 取組状況と自己評価	今後の課題
区内の各種競技団体と協力し、指導者の派遣等により運動部活動の活性化や競技力向上を図ります。	スポーツ振興課	自己評価：×	「新しい生活様式」下における、学校部活動のニーズを把握し、今後の支援のあり方を検討し、運動部活動の活性化や競技力向上を図っていく。
		新型コロナウイルス感染症の影響により、部活動、各種競技団体ともに活動の自粛や中止が多く、事業の展開ができなかった。	

計画進捗管理シート

計画名称	スポーツ・健康づくり推進計画
施策	4 区内スポーツ団体等との連携、支援
目指すべき状態	積極的に運動・スポーツに取り組んでいる区民が主体となって、他の区民を巻き込みながら、地域のスポーツ活動が大きな広がりを見せています。
施策の方向性	区内スポーツ団体や大学等が、お互いの情報を共有し、協力して課題の解決ができる環境を整備し、スポーツに関わる人材の育成や活動環境の改善に取り組み、区民の自発的なスポーツ・健康づくり活動の輪を広げていきます。

主な取組			
■一般社団法人中野区体育協会との連携、支援（計画冊子ページ:P75）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
多くの競技者が参加する区民大会をはじめ、技術力や指導力を高める教室や研修などが活発に行われ、加盟団体の活動が拡大・発展するよう支援を行います。	スポーツ振興課	自己評価：○	大会や教室の規模に合わせて区の事業補助の配分を調整するなど、区による支援が高い成果に結びつくような方法を検討する。
		新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる事業もあったが、区の事業補助を活用し、感染症対策を講じ、区民向けの大会、教室を実施した。	
競技者のネットワークを活かした活動や事業等を通じて、区内スポーツ団体の中心的な存在として、効果的な情報発信がなされるよう、連携、支援していきます。	スポーツ振興課	自己評価：○	効果的な情報発信とするため、紙媒体だけでなく、インターネット等による情報発信についても取り組んでいく。
		生涯学習&スポーツガイドブックの作成、編集を関係部署と連携して行い、区民に対し教室や大会の情報を発信した。	
■中野区スポーツ推進委員との連携、支援（計画冊子ページ:P75）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
中野区スポーツ推進委員が地域のスポーツに関する身近な相談相手として地域に貢献できるよう、区内スポーツ施設や競技団体、地域団体等との連携を支援していきます。	スポーツ振興課	自己評価：○	これまでに支援を実施した団体等が主体となって、継続的にスポーツ活動が行われるよう、技術の向上や教室運営のためのノウハウ等を伝えていくことが重要である。
		区民活動センターや高齢者、障害者施設などからの依頼を受け、ポッチャ体験会や教室を区内各所で実施した。	
スポーツ推進委員の資質向上のため、指導者研修などへの派遣を積極的に進めていきます。	スポーツ振興課	自己評価：○	各委員が習得した知識を、中野区の他のスポーツ推進委員と共有できる機会を設定するなどして、委員全体の資質の向上につなげていく必要がある。
		オンラインも含めた各種研修への参加、上級救命講習の受講など、各委員が資質向上に積極的に取り組んだ。	
■地域スポーツクラブとの連携、支援（計画冊子ページ:P75）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
地域スポーツクラブとの情報の交換や共有の場を設け、区のスポーツ施策との連携を深めていきます。また、活動場所の確保や、広報活動への協力を行います。	スポーツ振興課	自己評価：○	理事会や運営委員会のほか、公認クラブの協力や理解を得て、区が目指す、より自主的なクラブ運営を実現できるような支援の方法を検討していく。
		地域スポーツクラブの理事会等での情報共有や、新たな公認クラブの審査、承認を行った。	

■区内大学等との連携（計画冊子ページ:P75）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
区内大学や高校等によるスポーツや健康づくりに関する講習会、イベント等を通して、専門的なスキルを区民の健康の維持・増進に役立てます。	スポーツ振興課	自己評価：○	学生と地域の高齢者等との交流など、これまで活動の領域が異なっていた主体相互の交流を促進していく必要がある。
		新型コロナウイルスの影響で演技は中止となったが、オリンピック・パラリンピック推進事業において、区内高校ダンス部のパフォーマンスを企画した。	
■スポーツを核とした関係者や団体間の連携（計画冊子ページ:P75）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
区内のスポーツ関係者や団体等が相互に連携し、その専門性を活かせる基盤を整備します。	スポーツ振興課	自己評価：○	連携の具体的な内容、方法について、関係者と引き続き議論を続け、基盤となる会議体などの整備を目指していく。
		本計画の策定過程における意見交換会等を通じ、スポーツ関係者、団体の連携の可能性などを議論した。	
■スポーツを支える人材の育成（計画冊子ページ:P75）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
スポーツ指導、クラブ運営、事業ボランティアなど、スポーツを支える人材を育成するとともに、地域や団体とのマッチングを図り、活動の輪を広げていきます。	スポーツ振興課	自己評価：○	東京2020大会をきっかけにボランティア等を経験した区民が、今後も活動を続けていけるような環境づくりに取り組んでいく。
		オリンピック・パラリンピック推進事業の企画・運営の一部を、区民から募集した中野区オリンピック・パラリンピック推進実行委員が担った。	

計画進捗管理シート

計画名称	スポーツ・健康づくり推進計画
施策	5 健康的な生活習慣の定着支援
目指すべき状態	区民一人ひとりのライフステージやニーズに応じた健康づくりに取り組むことで、栄養・運動・休養の調和がとれた健康的な生活習慣が定着しています。
施策の方向性	健康的な生活習慣の定着に向けて、意識啓発や環境づくりを進めます。また、区民一人ひとりが抱える健康課題について理解促進を図るとともに、心の悩みのある区民に対する相談支援と、メンタルヘルスへの正しい知識を広げる心の健康づくりを推進します。

主な取組			
■精神保健相談（計画冊子ページ:P77）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
受診までには至らない、あるいは受診したいができないなど、心の悩みのある区民、家族及び関係者を対象に専門医師による相談を実施します。また、認知症やアルコール・薬物等の依存症の相談も実施します。	すこやか福祉センター	自己評価：○	メンタルヘルスに関する知識の普及啓発と、相談支援体制の強化を図る。
		心の悩みのある区民、家族及び関係者を対象に専門医師、医療系専門職による精神保健相談を実施している。	
■地域健康活動支援（計画冊子ページ:P77）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
地域における区民への健康思想の普及啓発と健康づくりや人材育成を目的として、医療系専門職による相談、講座、食育活動の支援や講師派遣など地域における健康づくりやグループ活動を支援します。	すこやか福祉センター	自己評価：○	引き続き新型コロナウイルス感染症の感染予防に配慮しながら、効果的な実施方法を検討していく。
		事業の目的・対象者や地域の実情に合わせて、定員や時程等を工夫し、新型コロナウイルス感染症の感染予防に配慮し実施した。	
■健康づくり支援（計画冊子ページ:P77）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
世界禁煙デー、世界糖尿病デー等の取組等について、パネル展示などを行い、健康づくりに関する普及啓発を推進します。また、中野区民の健康づくりを推進する会等と連携して、フレイル予防や健康づくりに関する事業などを実施します。	保健企画課	自己評価：△	今後の新型コロナウイルス感染症の流行状況等を勘案し、中野区民の健康づくりを推進する会のあり方や、健康づくりに関する事業の実施について検討していく。
		パネル展示による健康づくりに関する普及啓発はできているが、新型コロナウイルス感染症の影響により中野区民の健康づくりを推進する会の活動を休止し、各種事業は行えていない。	
■熱中症対策の普及啓発（計画冊子ページ:P77）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
熱中症を予防するために、暑さを避け、エアコンを適宜使用することや、こまめな水分補給を行うことなど、対応策の普及啓発に努めます。	保健予防課	自己評価：○	季節や新型コロナウイルス感染症の流行状況等に応じた対応策の普及啓発に努める。
		ホームページや区報などで熱中症予防のための普及啓発活動を実施した。	

計画進捗管理シート

計画名称	スポーツ・健康づくり推進計画
施策	6 データ分析や健診等による健康づくりの支援
目指すべき状態	各種データの収集・分析等に基づく健康づくりを推進することによって、疾病の早期発見・早期治療を行い、区民の健康寿命が延伸しています。
施策の方向性	特定健康診査や診療報酬明細書などのデータの収集・分析に基づき、ターゲットを絞った保健事業の実施など効果的な事業を展開し、あわせて受診勧奨などを推進しながら、がん等検診の受診率向上に取り組めます。また、パーソナルヘルスレコードの活用やナッジ理論を活用した健康に関心の低い区民へのアプローチにより、生涯を通じた健康づくりの支援を進めます。

主な取組			
■生活習慣病予防対策事業（計画冊子ページ:P79）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
糖尿病の予防のために、特定健診などの結果、糖尿病予備軍と判定された区民に対して、日常的な運動習慣の定着や食生活を含めた生活習慣を改善できるように支援します。	保健企画課	自己評価：○	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防対策事業の参加者がより増えるよう、事業の普及啓発を図っていく。 自主的な改善行動に結びつかない糖尿病予備軍に対するアプローチを検討する必要がある。
		スポーツクラブに委託して実施している生活習慣病予防対策事業に26名の参加があり、事業実施の効果があつた。	
■受動喫煙防止対策事業・禁煙外来治療費助成事業（計画冊子ページ:P79）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
区民や飲食店等に対して、受動喫煙防止に関する制度や受動喫煙が健康に及ぼす悪影響について普及啓発等を行います。	保健企画課	自己評価：○	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き禁煙及び受動喫煙の被害に関する普及啓発を行い、適宜飲食店等に対して指導訪問を行っていく。
		<ul style="list-style-type: none"> 世界禁煙デー及び禁煙週間(5/31～6/6)にパネル展示を行い、禁煙に関する普及啓発を行った。 37件の飲食店等に指導訪問を行った。 	
禁煙に取り組む区民を支援し、受動喫煙による健康被害を防止するために、禁煙外来治療費の一部を助成します。	保健企画課	自己評価：○	禁煙治療薬の出荷状況を注視し、出荷再開の際には禁煙外来治療費助成制度の周知をあらためて行う。
		禁煙外来治療費助成に対して110名の登録申請があり、34名に交付した(令和4(2022)年3月末日現在)。禁煙治療薬の出荷保留により、例年より実績が少なくなっている。	
■データヘルス事業（計画冊子ページ:P79）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
区民の生活の質の向上、健康寿命の延伸及び医療費の適正化のために、医療や健康に関するデータを活用して、疾病の早期発見・早期治療、重症化を予防する取組を推進します。	保健企画課	自己評価：○	より受診行動につながる勧奨の方法や効果的な保健指導について引き続き検討を行う。
		特定健診結果、レセプトデータから対象者を抽出し、医療機関への受診勧奨や重症化予防を目的とした保健指導を実施した。	

■がん等検診の実施及び受診勧奨事業の実施（計画冊子ページ:P79）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
がん等の疾病を早期発見し、早期治療につなげるとともに、健康管理に関する正しい知識を普及するためにがん等検診を実施します。	保健企画課	自己評価：○	新型コロナウイルス感染症の影響で健診・検診の受診者数が減っているため、受診につながる勧奨方法について検討する必要がある。
		新型コロナウイルス感染症が流行する中、実施機関と協力して感染対策を行うことで、例年通り6月から2月まで検診を実施することが出来た。	
がんによる死亡率の減少を目指して、ナッジ理論を活用した受診勧奨を行います。さらに、パーソナルヘルスレコードの活用を推進することにより、区民が、がん検診などのデータを一元的に把握しやすくすることで、一人ひとりの健康増進や生活改善につなげていきます。	保健企画課	自己評価：○	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で健診・検診の受診者数が減っているため、引き続き受診勧奨を行う必要がある。 ・令和4(2022)年6月のパーソナルヘルスレコード本格稼働に向けて引き続きシステム改修を行う。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ナッジ理論を活用した子宮頸がん・乳がん検診の受診勧奨を行い、一定数の方を受診に繋げることが出来た。 ・パーソナルヘルスレコード実施に向けたシステム改修を行うことで、区民がデータを一元的に把握出来る仕組みづくりを推進した。 	
■客観的データに基づく運動機能向上の推進（計画冊子ページ:P79）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
区立スポーツ施設等の利用者や事業参加者の身体能力や健康状態のデータを活用し、区内大学や医療関係者等と連携し、運動やスポーツの効果を科学的に分析し、運動機能を高める取組を推進していきます。	スポーツ振興課	自己評価：○	身体能力や健康状態のデータの管理・活用方法を検討するとともに、区内大学や医療関係者等と連携して分析を行うための協議を行う。
		スポーツ・コミュニティプラザで、子どもから大人までを対象とした体力測定会を実施した。	

計画進捗管理シート

計画名称	スポーツ・健康づくり推進計画
施策	7 食育の推進
目指すべき状態	食に対する意識や理解を深めるとともに、健全な食生活を身につけることで、区民の健康が維持・増進されています。
施策の方向性	子どもから高齢者まで、ライフステージに合わせて、栄養バランスのとれた食事の大切さや健康的な食習慣、歯と口腔のケア等の普及啓発を進めていきます。

主な取組			
■各ライフステージに合わせた食育の推進と食生活支援（計画冊子ページ:P81）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
妊娠期からの口腔ケアや健全な食生活の確立を目指す講習会を実施するとともに、栄養相談体制を充実し、安心で健康的な出産に向けた支援を行います。	すこやか福祉センター	自己評価：○ ・妊娠期における口腔ケアや健全な食生活についての普及啓発を図るため、妊婦歯科栄養講習会を実施するとともに食事調査を行い、結果を返却している。 ・妊婦向けの食事を紹介する区ホームページは、月に約650件の閲覧があった。	・妊娠初期からの講習会参加を勧奨していく。なお、令和4(2022)年度は講習会を10分拡大し、内容の充実を図る。 ・講習会に参加できない方のためにも、ホームページの掲載内容の充実を図る。
乳幼児健康診査時の月齢に応じた食習慣支援、離乳食や食育等の講習会の実施など、家庭における食育を推進します。	すこやか福祉センター	自己評価：○ 月齢に応じた食習慣を支援するため、離乳食・歯みがきスタート講座、離乳食講習会、食育講習会をすこやか福祉センターや児童館等で実施している。	離乳食・歯みがきスタート講座、離乳食講習会、食育講習会を継続して実施し、需要に応じた回数増も検討していく。
保育施設・幼稚園等の給食、行事食や食に関わる体験を通じ、食に対する興味や関心を高める取組を進めます。さらに小・中学校では、給食で食に関する指導を行うとともに、教科や学校行事等の中に食育を位置づけて推進します。	保育園・幼稚園課 指導室	自己評価：○ 【保育園・幼稚園課】 季節ごとの特別献立の実施や旬の食材を活用したクッキング保育など、新型コロナウイルス感染症の感染予防に配慮し、可能な限り実施した。 【指導室】 オリンピック・パラリンピック教育と関連付け、各国の食事を給食で出すなど、各校が工夫して食育の位置付けを行っている。	【保育園・幼稚園課】 新型コロナウイルスの影響で、子どもたち自身が体験する行事が減少している。今後は密を避けて体験できる取組について検討していく。 【指導室】 新型コロナウイルス感染症の影響による黙食の対応が続いており、様々な機会を捉えた食育の推進が必要である。
若い世代や働き盛り世代に向けて、個人の生活環境に合わせた栄養情報の提供や、食生活改善のための取組提案等、生活習慣病予防のための望ましい食生活実現に向けた支援を行います。	保健企画課 すこやか福祉センター	自己評価：○ 【保健企画課】 食育月間(6月)や食生活改善普及月間(9月)の際にパネル展等を実施し、食生活改善の普及啓発を行った。 【すこやか福祉センター】 妊婦歯科栄養講習会、女性のための健康講座、栄養講習会、食育講習会、依頼講座の参加者を対象として、健全な食習慣について情報提供している。	【保健企画課】 若い世代や働き盛り世代に向けた食生活改善の支援について、関係所管課と連携し、他自治体の取組等について研究し、今後の事業内容を検討する。 【すこやか福祉センター】 若い世代や働き盛り世代を対象とした講習会を継続して進め、ホームページやリーフレットを充実させていく。

高齢者が食を通じた健康づくりに取り組めるよう講習会を実施するほか、地域で食事をする機会や交流を通じて健康的な食生活が維持できるよう支援します。また、食べる機能を維持するための口腔ケアや体操の普及等、低栄養予防の支援も行います。	すこやか福祉センター	自己評価：△	新型コロナウイルス感染症の流行状況等により開催時期を検討し、感染予防対策を行った上で、高齢者の低栄養を予防するための口腔ケアや体操の普及に努めるとともに、講習会等の実施を再開していく。
		・高齢者向けの講習会等は新型コロナウイルス感染症の影響により実施できていないが、個別の栄養相談支援は継続して行っている。 ・口腔ケアについては、リーフレット等配布対応した。	
各世代の食育推進の支援として、各ライフステージに向けた食育リーフレットを作成します。	保健企画課	自己評価：○	令和4(2022)年度のリーフレット作成業務の進捗管理を行うとともに、令和5(2023)年度以降の健康的な食習慣等の普及に向けたリーフレット活用についての検討を行う。
		帝京平成大学との包括連携事業により、各ライフステージの食育リーフレット作成計画を立案した。	

■健康づくり事業等における食育の普及啓発（計画冊子ページ:P81）

取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
区ホームページ、食育月間や健康づくり事業、講習会等の機会を捉えて、栄養バランスのとれた食事の大切さや健康的な食習慣、栄養成分表示の活用について等、食に関する情報発信をするとともに、健康づくりシンボルマーク・標語や、親しみやすい食育マスコットキャラクター「うさごはん」を活用し、あらゆる世代の区民に対して普及啓発を図っていきます。	保健企画課 保健予防課 すこやか福祉センター	自己評価：○ 【保健企画課】 区のホームページやパネル展示により、食育や健康づくりについての普及啓発を行った。 【保健予防課】 ・特定給食施設等の栄養指導・相談を通して、各給食施設の状況を把握しながら実施できた。 ・食品表示法の完全施行に伴い、国では栄養成分表示について、『自然に健康になれる持続可能な食環境づくり』を視野に産学官等の連携の取組が実施されている。これを踏まえ、区民が栄養成分表示を活用できるよう、保健企画課・すこやか福祉センターの栄養事業に栄養成分表示に関する普及啓発の取組を盛り込むことを提案し、開始された。 【南部すこやか福祉センター】 健康づくり事業等で、栄養バランスのとれた食事の大切さや健康的な食習慣等について、普及啓発を図っている。	【保健企画課】 引き続きホームページ等での食育や健康づくりに関する普及啓発を行っていくとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を勘案して、健康づくり事業や講習会等の実施について検討を行っていく。 【保健予防課】 ・特定給食施設等への栄養指導・相談は、利用者だけでなくその家族や地域にも影響を与える。給食内容は、食事バランス等について実際に体験できるお手本になるものであり、栄養成分表示の普及啓発と関連させ、給食以外の食事選択にも役立ててもらえる働きかけを行っていきたい。 ・区民への栄養成分表示の活用に向けた普及啓発について、保健企画課やすこやか福祉センターの栄養事業の内容が充実するよう後方支援に努める。 【南部すこやか福祉センター】 引き続き効果的な実施方法を検討していく。

■食育推進団体や区内栄養士等との連携と人材育成（計画冊子ページ:P82）

取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
地域の食育推進団体や栄養士等と連携して、事業等での食育の普及啓発や相談・助言を行います。また、これらの団体等による食育の推進を支援します。	保健企画課	自己評価：○ 食育推進団体に対して、事業を実施する際の後援や補助金交付等を行い、食育推進を支援した。支援を受けた食育推進団体により、味噌づくり等の食育活動が行われた。	・今後も地域を巻き込んだ食育活動に対し、補助金交付等を通して支援していく。 ・食育推進団体の新規開拓について、他自治体の取組を参考に検討を進めていく。
特定給食施設等の利用者とその家族や地域への健康増進を図るために、給食施設従事者に対して栄養管理に関する相談支援や講習会等による情報提供を行うほか、「新しい生活様式」を視野に入れ、災害時の食生活について、区内給食施設、行政、地域で活動する管理栄養士・栄養士との協力・連携体制を構築します。	保健予防課	自己評価：○ 特定給食施設等に必要相談支援や、栄養管理に必要な講習会等を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大(第6波)による保健所業務逼迫のため、予定していた事業を延期したのち、開催が厳しく中止にしたもの、書面開催にしたもの等、状況に応じて対応した。	新型コロナウイルス感染防止のため、講習会はオンラインによる実施計画とした。年度末に予定していたオンライン講習会は、新型コロナウイルス感染拡大により、受講対象である給食施設の厳しい感染状況のため中止とした。令和3(2021)年度に見えてきた課題の洗い出し、令和4(2022)年度の取組の構築が必要である。

■食品関連事業者における食育の推進（計画冊子ページ:P82）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
区内飲食店等と連携し、消費者に向けた健康に配慮した食事内容の啓発や選択の推奨など、暮らしの中で自然と健康的な食生活を送りやすい環境づくりを推進します。	保健企画課	自己評価：○	新型コロナウイルス感染症の影響により事業実施時期や方法を変更する可能性があるが、令和5(2023)年度の事業実施に向けて、引き続き他自治体の取組や食生活関連の事業を行っている事業者への聞き取りを行い、実施方法を検討する。
		先行自治体に聞き取りを行い、中野区において実施する場合の事業方法等を検討している。	
■環境を意識した食育の推進（計画冊子ページ:P82）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
「もったいない」食品ロスを削減するための情報をわかりやすく提供し、区内事業者や大学等と連携した取組を進めて、食品ロス削減意識の浸透と行動変容の促進・定着を図ります。また、仮称中野区食品ロス削減推進計画を策定し、総合的に取組を進めます。	ごみゼロ推進課	自己評価：○ ・食品ロス削減協力店と協力した食べきりキャンペーンや「手前どり」ポップ掲示等を行ったほか、区内短期大学との連携による「あまりものレシピ」の考案・情報誌等掲載及び親子料理教室実施などの取組を行い、区民への情報提供を推進した。 ・「新しい生活様式」に配慮して啓発手段の充実を図り、親子料理教室の一部にオンライン形式を取り入れるとともに、区のキャラクターを活用したオリジナル食品ロス削減啓発動画のYouTube公開も新規実施するなど、家庭から情報を得やすいよう工夫した。 ・「中野区食品ロス削減推進計画」については、令和4(2022)年度の策定に向けて準備を進めた。	・食品ロス削減協力店の登録拡大、区民向け利用促進の効果的な実施。 ・「あまりものレシピ」等の普及のための各種啓発資材充実(動画を含む)。 ・食品ロス削減対策事業の効果測定方法の検討(意識向上や行動変容への事業効果検証等)。 ・実効性のある食品ロス削減推進計画の策定(区の特性に合わせて区民・事業者・区が協働して取り組む具体的施策など)。
■食の安全性の確保（計画冊子ページ:P82）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
毎年度、中野区食品衛生監視指導計画を策定し、食の安全確保に関する事業を実施します。	生活衛生課	自己評価：△	普及啓発活動に関しては、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、WEB等を活用した方法を検討する必要がある。
		「中野区食品衛生監視指導計画」を策定し、事業を実施してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響で講習会などの普及啓発活動が実施できなかった。	
消費者、事業者、行政の三者が情報・意見交換を行うリスクコミュニケーションを推進し、食の安全・安心確保に関するさらなる普及啓発に努めます。	生活衛生課	自己評価：× 新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。	この事業は直接顔を見ながら意見を交換する場であることから、新型コロナウイルスの感染が低減した状態で感染防止対策を講じて実施していく。

■なかの里・まち連携による農業体験等の実施（計画冊子ページ:P82）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
食に対する感謝を深めていく上で、食を生み出す生産過程を理解することが重要なため、なかの里・まち連携事業の中で、現地に宿泊して農業体験や収穫体験を行うなどの交流事業を実施します。	産業振興課	自己評価：△	今後の感染状況を注視しながら、農業、収穫体験等の実施を再開していく。
		新型コロナウイルス感染症の影響で農業、収穫体験等の交流事業が中止となった。一方で感染対策を講じながら、連携自治体主催の物産展を区内で実施し、野菜等農産物を販売した。	
■歯と口腔の健康事業（計画冊子ページ:P82）			
取組内容	所管	令和3(2021)年度の取組状況と自己評価	今後の課題
各ライフステージに応じた口腔機能を維持するとともに、自らが歯科疾患予防に取り組むよう、様々な機会を通じて歯科口腔保健の知識を普及します。	すこやか福祉センター	自己評価：○	感染状況を考慮しながら、通いの場や事業を通して各ライフステージに応じた歯科疾患予防法や知識の普及啓発を行い、区民の歯科健康の推進・増進に努める。
		新型コロナウイルス感染症の影響により通いの場や事業開催が厳しい状況であったが、感染状況を考慮しながら、講話中心に媒体等を活用し、各ライフステージに応じた内容で知識の普及啓発を行った。	
むし歯や歯周病の予防方法など、歯や口に関する相談に応じるとともに、自主学習グループなどに、講師を派遣して、歯や口に関する講習会を開催するなど、口腔の健康に関する地域の活動を支援します。	すこやか福祉センター	自己評価：○	引き続き新型コロナウイルス感染症の感染予防に配慮しながら、効果的な実施方法を検討していく。
		事業の目的・対象者や地域の実情に合わせて、定員や時程等を工夫し、新型コロナウイルス感染症の感染予防に配慮し実施した。	